令和７年７月22日
行財政改革推進懇話会
資料6

芦屋市の人口について

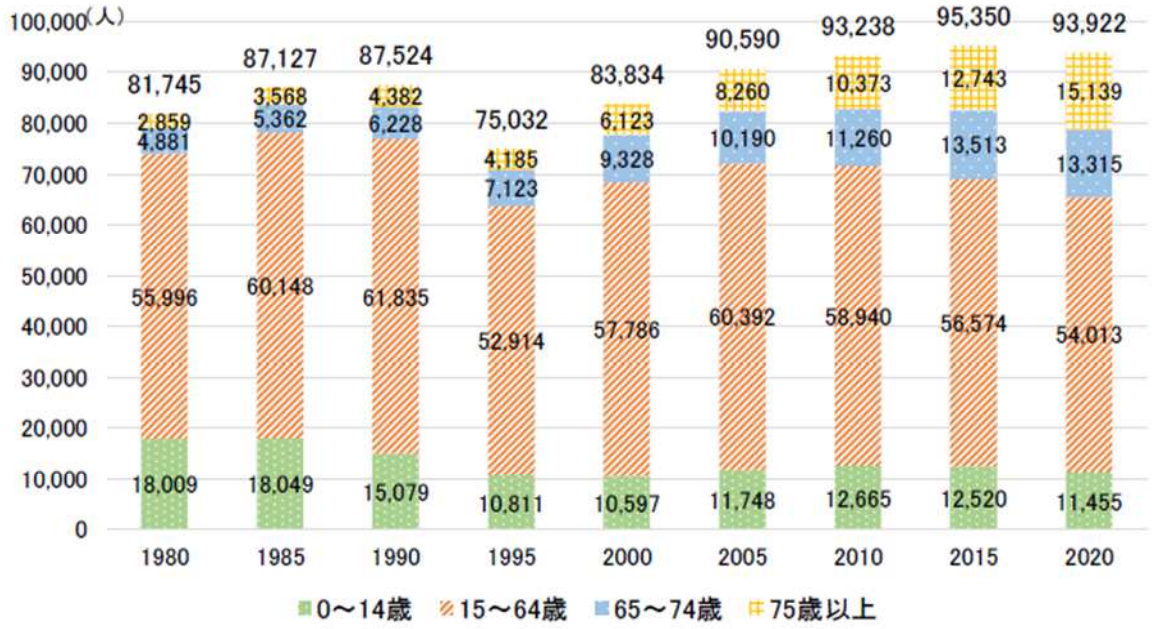
1. 芦屋市の人口推移

本市の人口は、1995年に阪神・淡路大震災影響により急減して以降、復興整備や住宅供給により、2015年まで増加傾向で推移していました。2015年以降は、やや減少がみられますが、概ね横ばいで推移しています。

図　総人口推移

（資料）2020年まで：国勢調査、2021～2023年：芦屋市

図　年齢4区分人口の推移



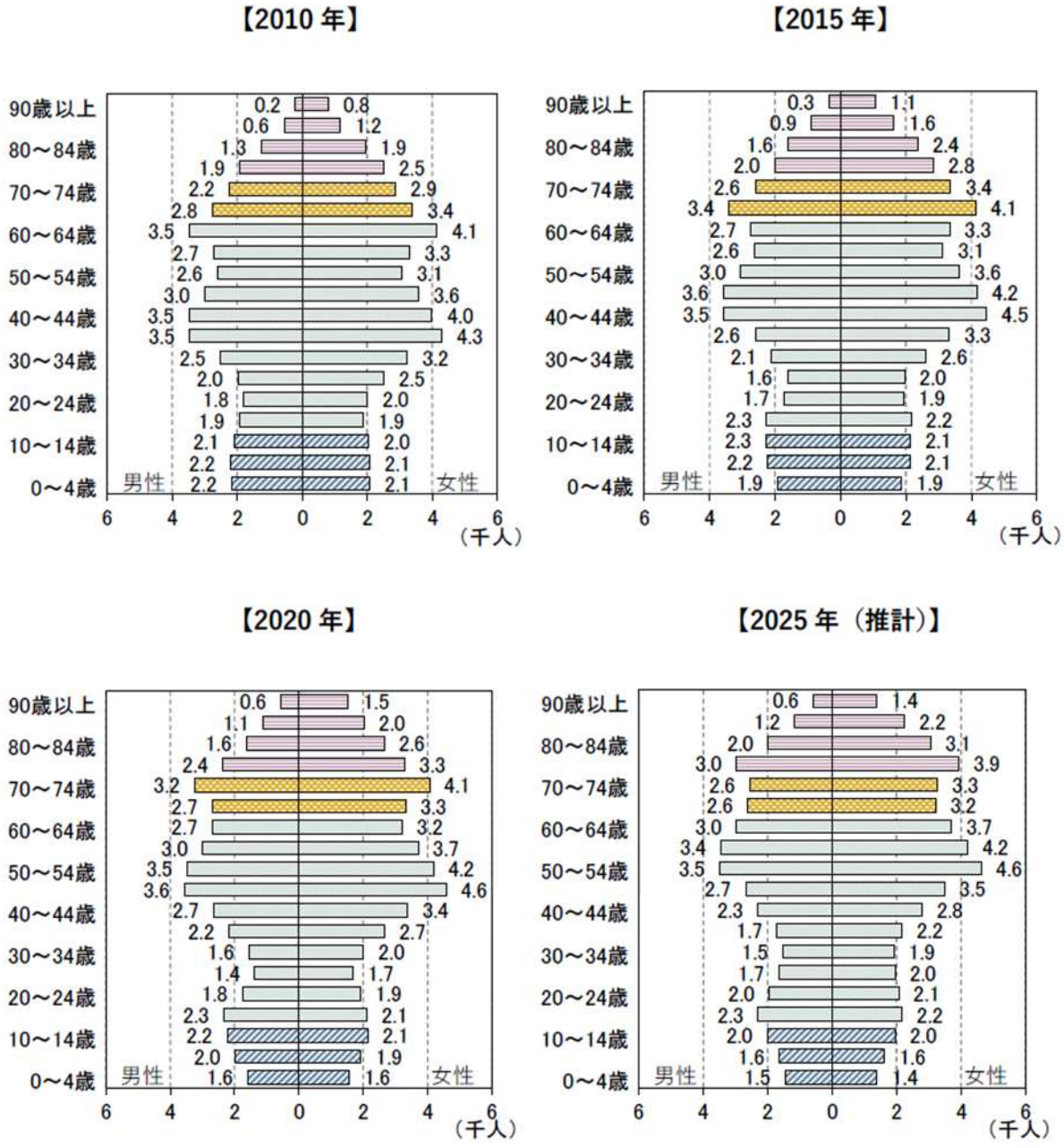
（資料）国勢調査

2. 芦屋市の人口構成

芦屋市の人口ピラミッドをみると、2020 年（最新の国勢調査に基づく実績）では、70 歳代前半及び、40 歳代後半の2つの年齢層の人口が多くなっています。それぞれ、「第一次ベビーブーム（団塊世代）」、「第二次ベビーブーム（団塊ジュニア世代）」に当たります。

いわゆる「つぼ型」の人口ピラミッドとなっており、少子高齢化が進行することで、さらに上部が厚く、底部が薄い形になることが見込まれます。

図　芦屋市の人口ピラミッド



（資料）2010～2020 年：国勢調査、2025 年：推計値（後述）

参考：芦屋市人口推計結果（令和6年度）

3. 将来推計人口

本市の人口は、今後も減少を続け、2055 年には8万人を下回ることが見込まれます。

また、高齢化の進行により、2050 年には高齢化率（65 歳以上人口割合）が 42%に達します。

図 将来推計人口の推移（総人口、年齢4区分人口）

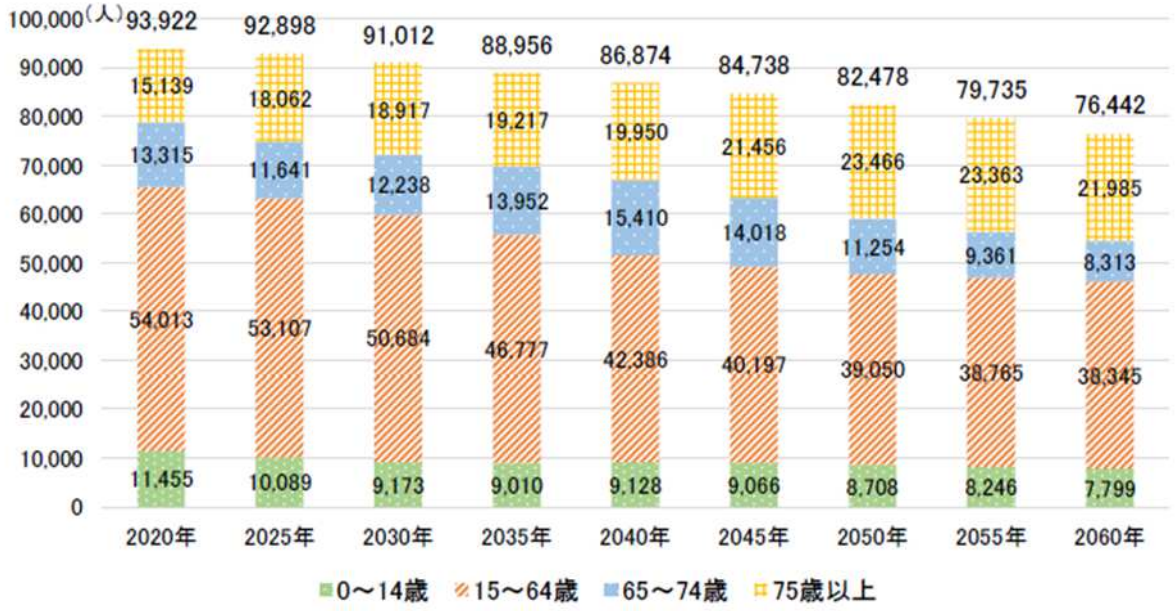
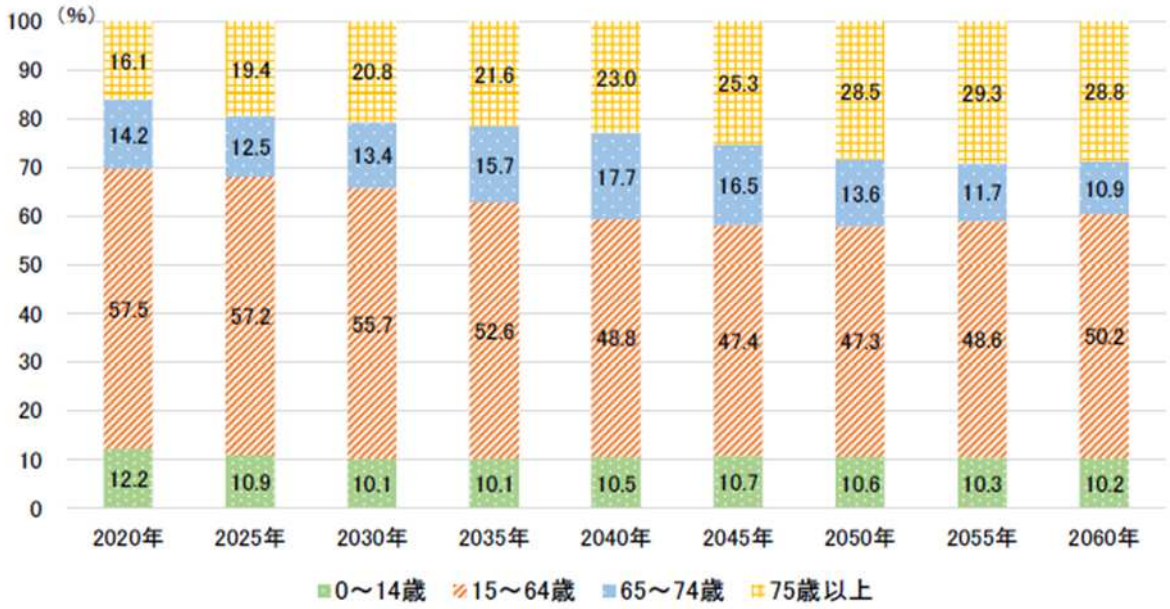


図 将来推計人口の推移（総人口、年齢4区分人口構成比）



参考：芦屋市人口推計結果（令和6年度）

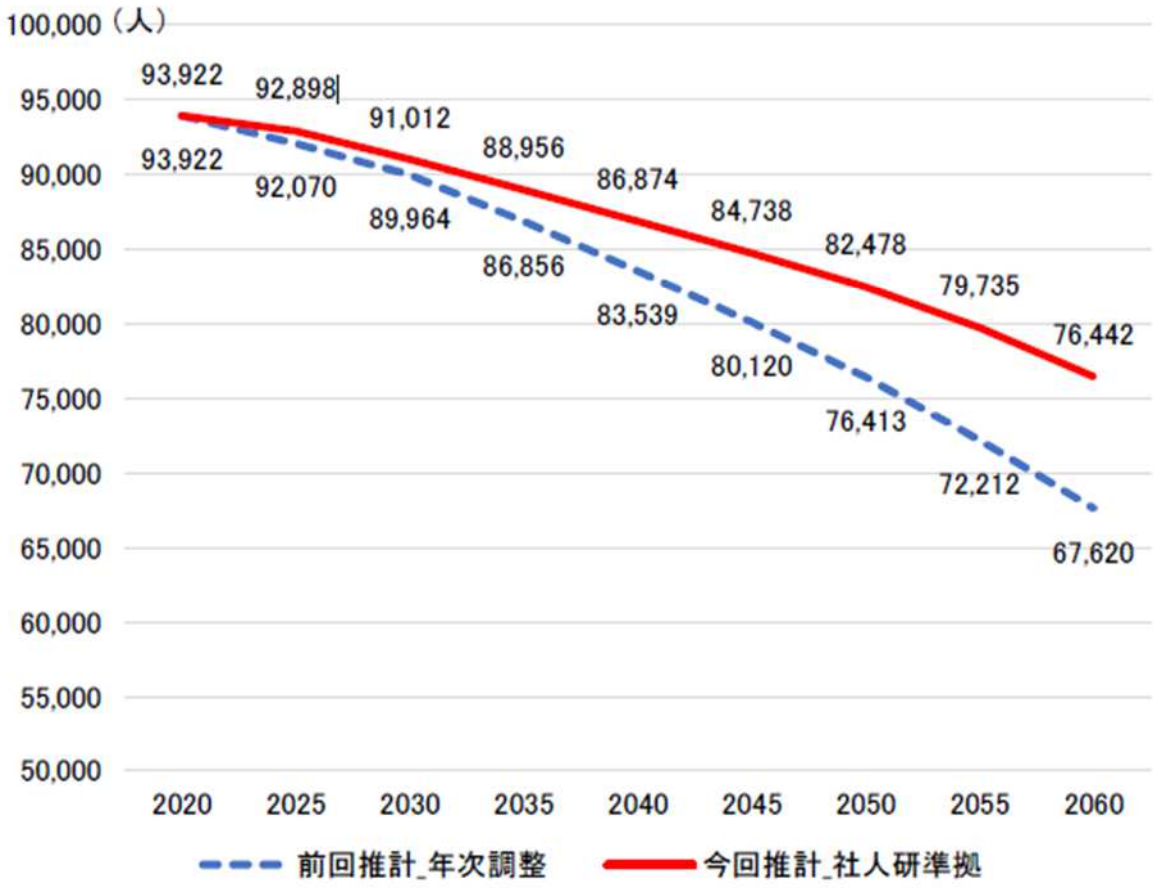
4. 前回推計(2019 年推計)との比較

(ア) 総人口

前回推計(2019 年芦屋市将来人口推計結果)と比較すると、2045 年時点で約 1 万人を上回る推計結果となっています。

なお、前回推計では、2018 年を始点とした 5 年間隔の推計を行っているため、今回推計との比較のため、2020 年を始点とした 1 年間隔の人口に換算を行っています。(次の年齢区分別人口比率についても同様)

図 前回推計・今回推計の総人口比較



(イ) 年齢区分別人口比率

年齢区分別人口比率については、年少人口(0～14 歳以下人口)、生産年齢人口(15～64 歳人口)、高齢者人口(65 歳以上人口)ともに、2020 年及び 2060 年を比較すると、概ね同水準となっています。(図表は次頁に掲載)

一方で、年少人口比率については、2035 年の前後で傾向が異なり、今回推計では、2035 年までは前回推計を下回るのに対し、2040 年以降は上回っています。

参考:芦屋市人口推計結果(令和6年度)

図　前回推計・今回推計の年少人口比率の比較

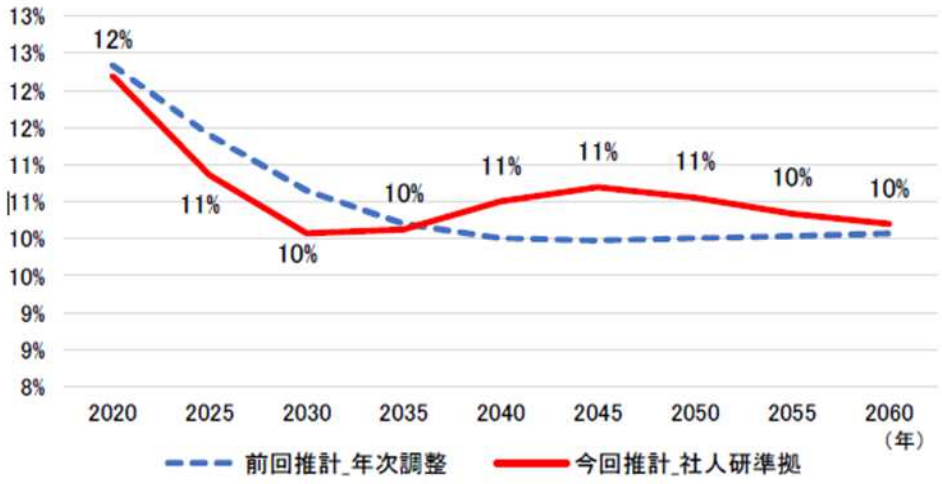


図　前回推計・今回推計の生産年齢人口比率の比較

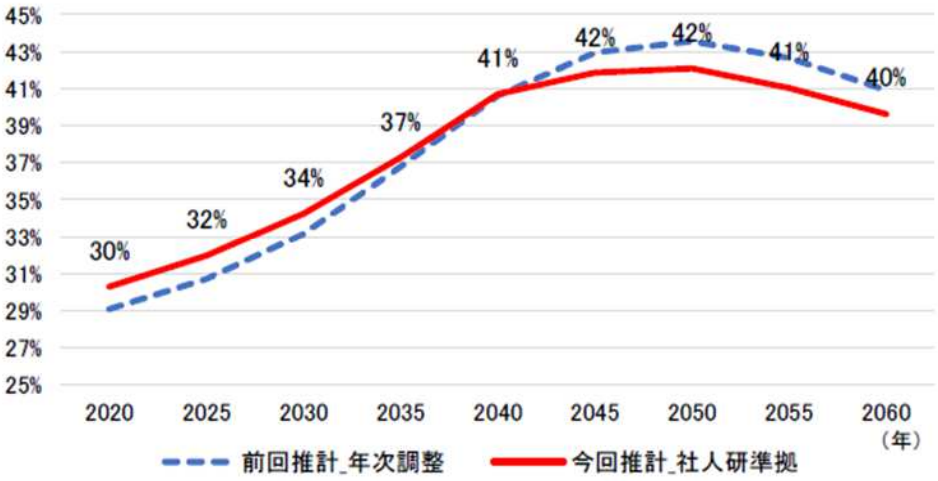
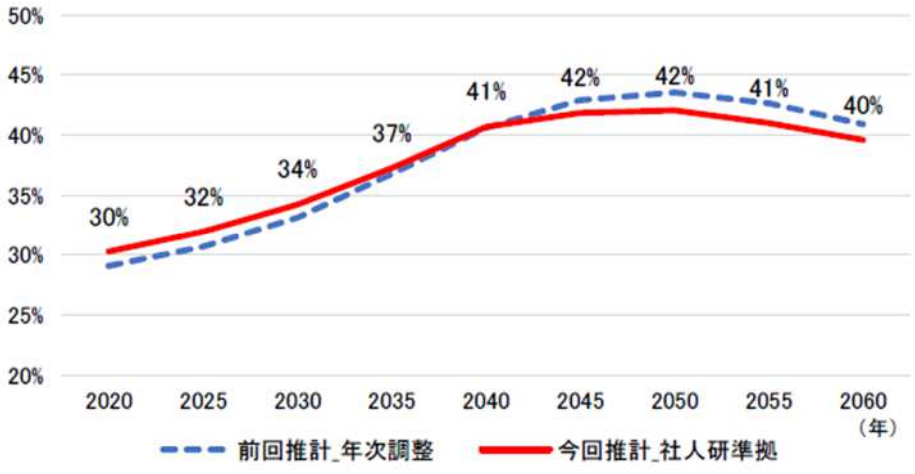


図　前回推計・今回推計の高齢化率（高齢者人口比率）の比較



参考：芦屋市人口推計結果（令和6年度）

5. 差異の要因

前回推計と今回推計の差異の要因として、社会移動に関する仮定値である純移動率と、出生に関する仮定値である子ども女性比の差異による影響があります。

（ア） 純移動率の差異（影響大）

特に女性の純移動率に関して、前回推計と比べて今回推計で用いている社人研公表値に大きな改善がみられます。女性人口の社会増減が改善された結果、出生数も増加し、前回との差異につながっていると考えられます。

図 前回推計（上図）・今回推計（下図）の女性の純移動率仮定値

女性_前回推計	2018→2023年	2023→2028年	2028→2033年	2033→2038年	2038→2043年	2043→2048年
0～4 歳→5～9 歳	0.019	0.025	0.028	0.031	0.034	0.036
5～9 歳→10～14 歳	−0.004	−0.002	−0.002	−0.001	−0.001	−0.001
10～4 歳→15～19 歳	0.039	0.054	0.061	0.065	0.066	0.065
15～19 歳→20～24 歳	0.034	0.007	0.001	0.007	0.010	0.011
20～24 歳→25～29 歳	−0.071	−0.094	−0.120	−0.121	−0.107	−0.102
25～29 歳→30～34 歳	−0.005	−0.001	−0.001	−0.003	−0.002	−0.002
30～34 歳→35～39 歳	0.013	0.024	0.031	0.035	0.037	0.037
35～39 歳→40～44 歳	−0.014	−0.013	−0.012	−0.009	−0.007	−0.007
40～44 歳→45～49 歳	0.007	0.009	0.009	0.009	0.010	0.010
45～49 歳→50～54 歳	0.016	0.021	0.022	0.021	0.023	0.024
50～54 歳→55～59 歳	0.027	0.033	0.037	0.048	0.056	0.057
55～59 歳→60～64 歳	0.012	0.018	0.019	0.022	0.028	0.031
60～64 歳→65～69 歳	0.013	0.011	0.011	0.011	0.013	0.014
65～69 歳→70～74 歳	0.011	0.015	0.013	0.011	0.011	0.011
70～74 歳→75～79 歳	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
75～79 歳→80～84 歳	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
80～84 歳→85～89 歳	0.004	0.005	0.005	0.004	0.004	0.004
85 歳以上→90 歳以上	0.011	0.011	0.009	0.010	0.007	0.005

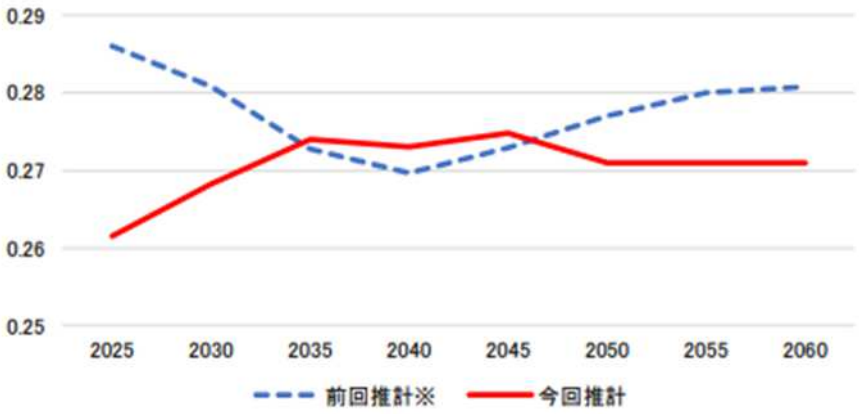
女性_今回推計	2020→2025年	2025→2030年	2030→2035年	2035→2040年	2040→2045年	2045→2050年
0～4 歳→5～9 歳	0.031	0.044	0.050	0.053	0.048	0.047
5～9 歳→10～14 歳	0.013	0.021	0.023	0.026	0.028	0.028
10～4 歳→15～19 歳	0.015	0.020	0.023	0.024	0.022	0.017
15～19 歳→20～24 歳	−0.020	−0.038	−0.028	−0.009	−0.015	−0.023
20～24 歳→25～29 歳	0.019	−0.022	−0.034	−0.018	0.005	0.000
25～29 歳→30～34 歳	0.142	0.137	0.099	0.090	0.103	0.122
30～34 歳→35～39 歳	0.081	0.089	0.099	0.090	0.087	0.093
35～39 歳→40～44 歳	0.052	0.050	0.058	0.064	0.063	0.065
40～44 歳→45～49 歳	0.037	0.034	0.035	0.039	0.042	0.042
45～49 歳→50～54 歳	0.017	0.012	0.012	0.014	0.017	0.020
50～54 歳→55～59 歳	0.014	0.012	0.014	0.014	0.016	0.020
55～59 歳→60～64 歳	0.013	0.012	0.013	0.020	0.024	0.027
60～64 歳→65～69 歳	0.018	0.015	0.017	0.018	0.023	0.028
65～69 歳→70～74 歳	0.009	0.007	0.006	0.007	0.007	0.012
70～74 歳→75～79 歳	0.013	0.012	0.011	0.009	0.010	0.010
75～79 歳→80～84 歳	0.018	0.021	0.017	0.015	0.015	0.016
80～84 歳→85～89 歳	0.019	0.019	0.025	0.018	0.017	0.018
85 歳以上→90～94 歳	0.008	0.008	0.006	0.014	0.004	0.005
90～94 歳→95 歳以上	0.012	0.015	0.014	0.012	0.017	0.013

参考：芦屋市人口推計結果（令和6年度）

（イ）　子ども女性比の差異（影響小）

推計にあたって自然増（出生）に影響する指標である子ども女性比は、一部年次を除き、前回推計の仮定値がやや上回っています。

図　前回推計（上図）・今回推計（下図）の女性の純移動率仮定値



	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
前回推計※	0.286	0.281	0.273	0.270	0.273	0.277	0.280	0.281
今回推計	0.262	0.268	0.274	0.273	0.275	0.271	0.271	0.271

※前回推計は 2018 年を始点とした5年間隔の推計であるため、今回推計（社人研準拠）と同じ年次で比較するため、中間年次の子ども女性比を案分により算出しています。

参考：芦屋市人口推計結果（令和6年度）